

スポーツで元気な 市民を増やすために

市は、「スポーツ推進計画」に基づき、年齢や性別、障がいの有無を問わず、皆さんが分け隔てなくスポーツを楽しめる環境づくりを進めることで、市民が「幸福で豊かな生活」を送ることができると目指しています。

スポーツには、体を動かしたいという人間が持っている欲求に込め、楽しさや喜びなど精神的な充足感をもたらす効果があります。

さらに、競技ルールを守り、仲間達と協力・連携することは、青少年の健全育成にもつながりますし、スポーツを通じた交流による地域社会の再生、心身の健康の保持増進効果による医療・介護費の軽減、マラソン大会運営などによる地域経済の活性化など、市民生活において多面にわたる役割を担っています。

市では、このようなスポーツの果たす役割の重要性を踏まえ、市民が、年齢や性別、障がいを問わ

ず、「いつでも、どこでも、いつでも」スポーツを楽しめる環境の構築を進めます。

運動の楽しさを知ろう

学校での運動は、多くの子どもたちにとって最初のスポーツ体験です。この年代のスポーツには、体力を向上させる役割と、楽しさを体験させる役割があります。子どもたちがこれからの人生で充実したスポーツをするためには、この2つの柱をしっかりと築くことが必要です。

平成28年度には、トップアスリートからスポーツの魅力を感じてもらおうと、社会人ラグビーの

土曜日は子どもたちの自由な学習に

市では、「地域の子どもは地域で育てる」の考えのもと、小中学生を対象に、第1・第3土曜日の午前中は地域の方を講師に招き、日本古来の伝統文化・芸術などを学ぶオープンサタデークラブを開催しています。柔道や剣道、バレーボール、囲碁、将棋、書道、生け花などを学んでいます。学校の先生ではなく、地域の方から学ぶことで、技術や知識



北部小のバレーボール教室



関根名人記念館対局室の将棋教室

の習得だけではなく、学校の授業では学べない、社会の規律や礼節などを学ぶ機会にもなり、児童生徒の人間力の向上を促します。

岩木小学校5年生が参加し、選手の体の大きさや動き方に驚き、スポーツへの意欲をかき立てられる課外授業となりました。

また、子どもたちには学校の体育や部活に留まらず、興味あるスポーツを楽しんでもらうため、オープンサタデークラブを開催しています。

運動は年代に応じて

27年度に実施した「野田市民意



学校ではスポーツを楽しんで挑戦する意欲を

トップリーグに属するNECグリーンロケッツの選手によるラグビー教室を開催しました。